

ちようふの教育

発行 調布市教育委員会 編集 教育部教育総務課（刊行物番号 2025-72）
調布市ホームページ <https://www.city.chofu.tokyo.jp/>

調布市立図書館
公式キャラクター じろ



No.91
9/20
令和7年(2025)

調布市制施行70周年 記念事業

調布市は、昭和30(1955)年に調布町と神代町が合併して誕生し、令和7年で市制施行70周年を迎えました。



郷土博物館 市制施行70周年記念写真展

市制施行70周年を迎えた令和7年度は、調布市のこれまでの歩みを振り返る写真展を郷土博物館や市内の施設で開催します。郷土博物館が所蔵する写真を中心とした展示で、昭和から現代までのまちの風景の移り変わりや暮らしの変化をたどります。なつかしい調布の風景にタイムスリップしてみませんか。

企画展「写真でたどる調布のおもいで」

期間 令和7年10月25日(土)～12月14日(日)

会場 郷土博物館1階展示室 ※入場無料

※開館情報・アクセス等は、ホームページでご案内しています。
(右のQRコードからアクセス可)



調布市役所(旧庁舎)1958年
問合せ／郷土博物館 ☎481-7656

出張パネル展示 市内施設で写真パネルの出張展示を行います。

① 文化会館たづくりエントランスホール南側

期間 令和7年10月18日(土)～11月9日(日)

② 西部公民館

期間 令和8年1月15日(木)～2月4日(水)

③ 菊野台地域福祉センター

期間 令和8年2月11日(水・祝)～2月25日(水)

④ ふじみ交流プラザ

期間 令和8年3月3日(火)～3月26日(木)

実篤記念館開館40周年・ 武者小路実篤生誕140年記念事業

武者小路実篤は明治18(1885)年に生まれ、調布の市制施行開始と同年の12月に若葉町(当時は入間町)へ移り住んだ、調布ゆかりの文化人です。

秋の特別展「細川護立と武者小路実篤－同級生、信頼の軌跡－」

期 間 令和7年10月25日(土)～12月7日(日)

展示解説 11月1日(土)、12月5日(金)午後1時30分から45分間程度

原田マハ氏 講演会 **日時** 令和7年11月9日(日)午後2時～3時30分

会 場 調布市文化会館たづくり8階 映像シアター **定 員** 90人

参加費 無料 ※事前申込制(10月から受付開始・抽選)。詳細は実篤記念館に問い合わせ。

リレー展示 今年度開催する各展覧会の中にコーナーを設け、
「実篤記念館の40年」実篤記念館の40年を振り返ります。



問合せ／実篤記念館
☎03-3326-0648

その他の市制施行70周年記念事業については、市ホームページで順次公開しています。(右のQRコードからアクセス可)



秋にも、続々

「東部公民館開館50周年記念事業」

令和7年6月に開館50周年を迎えた東部公民館が記念事業を実施しています。6月14日(土)に実施した50周年記念フェスティバルに続き、今後も記念事業を展開します。詳細は決まりしだい、市報、東部公民館だより、市ホームページ等でお知らせします。

10月に実施予定の事業

- 企画展「せんがわと公民館～過去の展示を振り返る」(仮題)
- 東部保育園・東部児童館との共同事業
- 学習会「高齢者の活動と公民館」(仮題)
- 展示と動画「調布市公民館のむかしと東部公民館」(仮題)

また、令和8年2月に、50周年記念誌『とぶと～ぶ』を発行する予定です。これまでのあゆみを知ること、公民館を知らない方でも公民館がより身近になることを願っています。



問合せ／東部公民館 ☎03-3309-4505

デフリンピック特別授業

調布市は、令和7年11月15日(土)から日本で初めて開催される「東京2025デフリンピック」のバドミントン競技会場となっています。

市と教育委員会は、大会開催を契機として、共生社会の更なる充実につなげていくため、大会の機運醸成及び障害理解の促進に向け、連携して取り組んでいます。

教育委員会では、観戦時に子どもたちが新たな気づきやより深い学びを得られるよう、市と連携し、希望する学校を対象に、デフアスリートや手話通訳者を講師とした特別授業を実施しているほか、東京都が実施する学校向けの競技観戦プログラムに全市立小・中学校(各校が指定する1学年)が参加する予定です。

また、夏季休業期間中には、教員向けに障害理解を深める研修を実施しました。



問合せ／指導室 ☎481-7479



(朝の小1の壁対策)

調布市立小学校児童への早朝見守り事業

「みまモーニング」10校で実施中

「朝の小1の壁」の解消に向けて、学校始業前まで、見守り員(市が業務委託)が児童の見守りを行っています。

令和7年5月7日(水)から4校、9月第1週から新たに6校拡充し、計10校で試行的に実施しています。

7月18日現在、試行実施校4校で1校あたり1日平均8人(最大23人)、延べ1603人の児童が利用しました。



※みまモーニングの詳細は、市ホームページ(左のQRコードからアクセス可)をご覧ください。

問合せ／教育総務課 ☎481-7144

中学生海外体験学習事業(実施速報)

令和7年8月16日(土)から24日(日)までの9日間、調布市立中学校2年生20人がオーストラリア・パースを訪れました。現地では、ホームステイ、現地校授業体験、校外学習等を行い、ホストファミリーや現地学生と交流しました。

生徒たちがこの体験で学んだ知識や経験等を各中学校や地域に還元するとともに、将来、調布市を担う国際社会で主体的に行動できるグローバルな人材となることを期待し、今後も本事業を継続していきます。

本事業の全体報告会を以下のとおり実施します。

日時 11月9日(日)午前10時から **場所** 調布市文化会館たづくり12階 大会議場

申込 事前の申込みは不要です。本事業に関心のある小・中学生や保護者の皆様、直接会場にお越しください。当日先着80人



問合せ／社会教育課 ☎481-7488

新教育長の挨拶



くりはら たけし
教育長 栗原 健
任期 令和7年4月1日～
令和9年9月30日
(注) 補欠としての任命のため、任期
は前任者の任期の残任期間
経歴
公立小学校校長、東京都教育
庁指導部指導企画課長、東京
都教職員研修センター研修部
長などを歴任。
令和7年4月1日から、調布市
教育委員会教育長に就任。

本年4月1日に教育長を拝命しました「栗原 健」です。これまで私が歩んできた校長及び教員、教育行政の経験等を踏まえ、教育長として大切にしている3つのことをお伝えいたします。

1 点目として、学校は、子どもたちが互いの良さや違いを認め合い、自分の考えや気持ちを安心して表現し、失敗を恐れず挑戦することができる「多様性と包摂性」を備えた心理的な「安全基地」であることが大切です。子どもは、調布の「宝」、「未来への希望」です。子どもたちが、安全・安心な環境で学ぶことで、心身共に健やかに成長するとともに、これからの社会に必要な生きる力を身に付けてほしいと願っています。

2 点目として、今後の教育は、個人と社会のウェルビーイングを追求することが大切です。全ての市民が生きがいを感じられることで、個人のみならず社会全体の満足度や幸福度の向上につながるよう、社会教育の発展・充実に取り組んでまいります。

最後に、3 点目、教育行政に取り組む姿勢として、「ミッション・パッション・イノベーション」を大切にしています。「使命感 ミッション」をしっかりと認識したうえで、実現に向けた「熱い情熱 パッション」を原動力とし、学校現場を含め、全職員一丸となって取り組むことで、調布ならではの「新たな価値 イノベーション」を生み出せるよう、スピード感を持って全力で取り組んでまいります。今後とも、教育行政への御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。

問合せ／教育総務課 ☎481-7465



最高の国領小学校

国領小学校 6年生

私たちの通う国領小学校は、校庭と体育館がとても広いです。職員室や校長室のベランダからは、教室も校庭も見られるので、広い校庭でみんなが遊んだり、体育の授業をしたりするところを先生たちが見守ってくれています。

国領小学校ではあいさつ週間の時と毎週水曜日に、代表委員会を中心にみんなで元気にあいさつをして、笑顔がたくさんあふれています。最高学年の6年生は色々な行事の準備をしています。だから、楽しい行事がたくさんできます。また、6年生は1年生のお世話をたくさんしているので、1年生も学校に慣れ、楽しく通っています。

私たちはこの国領小学校が大好きなので、これからもこんな素敵な国領小学校であってほしいです。



第八中学校は“ぽかぽか”

第八中学校 生徒会役員5名

私たちが通っている第八中学校には自慢できることがたくさんあります。体育祭や合唱祭、部活動や生徒会が企画するレクリエーション。それぞれに魅力や思い出があるけれど、すべてに共通しているのが「仲間を感じられること」「学年を超えた関わり」「頑張る人をみんなで応援するたくさんの声援」「廊下で交わされる普段のあいさつ」「勝敗よりも価値のある励まし合い・支え合い」全ての人を認め合うことで、第八中学校にはいつもあたたかい空気が流れています。第八中学校を色で例えると？「オレンジ! 黄色! 赤!」あたたかくてノリがいい。そんな学校が私たちは大好きです。



楽器寄附 ふるさと納税

調布市では、令和5年7月から「楽器寄附ふるさと納税」を開始しました。同制度は、既存の「ふるさと納税」の枠組みを活用して、寄附楽器の査定額が控除対象となる制度です。

制度開始から合計27台の楽器をご寄附いただいており、小・中学校における部活動等で活用しています。返礼品を伴わないため、市内在住の方のご寄附も可能です。子どもたちに笑顔が届けられるよう、本制度へのご協力をお願いします。

市ホームページ▶
(右のQRコードからアクセス可)



第四中学校にご寄附いただいたアルトサクソ
問合せ／教育総務課 ☎481-7145

市立小・中学校全校に コミュニティ・スクールを導入

【コミュニティ・スクールとは】

保護者や地域の皆様が責任をもって学校運営に参画する仕組みで、「地域とともにある学校づくり」を推進していくものです。

【コミュニティ・スクールの導入により目指す姿】

①学校運営への参画

学校・家庭・地域が同じ目標やビジョンを共有し、当事者意識をもって子どもたちの教育に携わる参画の気運を向上させます。

②組織的・持続的な体制の構築

子どもたちに安定した教育の機会を提供できるよう、学校・家庭・地域との組織的・持続的な連携・協働体制を構築します。

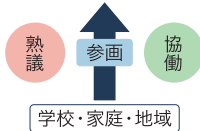
③役割分担の確立

学校が教育活動に注力できるよう、学校・家庭・地域が担うべき役割等を整理します。

コミュニティ・スクール
(学校運営協議会を設置した学校)



学校の育てたい
子ども像の実現



※コミュニティ・スクールの詳細は、市ホームページ(右のQRコードからアクセス可)をご覧ください。



令和7年度、保護者や地域住民の皆様が学校運営に参画していただく「コミュニティ・スクール」を市立小・中学校全校に導入しました。学校・家庭・地域が目標やビジョンを共有し、連携・協働して子どもたちを育てていく仕組みづくりを進めていきます。

【コミュニティ・スクール導入による効果】

子どもたちにとって	学校にとって
学びや体験活動の充実、 多様な人材や価値観に 触れる機会の増加	家庭や地域の理解と協力を 得た学校運営の実現、 地域人材を活用した 教育活動の充実
保護者にとって	地域にとって
学校や地域に対する 理解の深まり、保護者 同士や地域との交流の機会 の増加	地域づくりの担い手 の育成、学校を中心とし た地域ネットワークの形成

【コミュニティ・スクール導入の成果】

- ・校内教育支援センターの環境整備や運営方法について協議し、円滑な設置につながった。
- ・学校行事について、保護者や地域の意見を基に、子どもたちの思いを聞き、方針を決めることができた。
- ・子どもの提案に基づき、地域の祭りの復活と持続可能な運営について協議することができた。

【主な構成メンバー(10人以内)】

- ・保護者
- ・地域学校協働本部地域コーディネーター
- ・地域住民
- ・校長

問合せ／指導室 ☎481-7480

教育委員会の開催状況

令和7年3月から8月までに、6回の定例会と2回の臨時会が開催されました。

主な案件

- ・令和6年度における調布市の体力・運動能力・運動習慣等の調査(東京都)について
- ・令和7年第2回調布市議会定例会提出案件について

- 教育委員会定例会は原則として毎月第4金曜日に午前10時から、教育会館3階にて開催しています。傍聴は開会15分前から先着で受け付けます。
- 教育委員会の開催日・案件・会議録、教育委員会委員の活動報告、教育長交際費の支出状況など教育委員会の動きを市ホームページ(右のQRコードからアクセス可)で公開しています。



問合せ／教育総務課 ☎481-7465

図書館 若葉分館

開館50周年

若葉分館は、若葉小学校の隣にある図書館です。豊かな自然に囲まれ、近隣の小・中学生たちの元気な声も時折届き、明るく落ち着いた雰囲気です。

若葉分館は、昭和50(1975)年、市内で9番目の図書館として開館し、地域の皆様に支えられて、今年50周年を迎えました。これからも、使いやすく親しみやすい図書館であり続けられるよう努めてまいります。50周年記念イベントは図書館のホームページと調布市立図書館公式X(旧 Twitter)でお知らせします。ぜひご参加ください。

問合せ／若葉分館 ☎03-3309-3411

市立図書館では、3分館の整備を進めています。

※工事契約等は市議会の議決を要します。

分 館	移転整備場所	工事予定	共用開始予定
宮の下	上石原3-1(第七機動隊跡地)	未定	未定
若 葉	若葉町3(現第四中学校敷地)	令和7年10月～令和10年冬	令和10年冬以降
緑ヶ丘	緑ヶ丘2(宅添橋付近)	令和7年秋～令和10年春	令和10年春以降

問合せ／中央図書館 ☎441-6181

令和7年 春の叙勲について

深大寺小学校・多摩川小学校・第七中学校の元学校医(眼科医)水野和美氏が、調布市の学校保健に対する長年の功績を称えられ、令和7年春の叙勲(瑞宝双光章)を受章されました。長年の御活躍と御功績に敬意を表します。

問合せ／学務課 ☎481-7475

「令和7年度調布っ子“夢”発表会」を開催します

調布っ子“夢”発表会は、子どもたちに自由で夢のある意見発表の機会を提供するとともに、活動を通して、まちづくりへの参加意識の向上を図ることを目的に開催しています。

市内の小学校6校から5年生12人が、「わたしが考える未来の調布」というテーマをもとに、自由で夢のある意見を発表します。どなたでもご来場いただけます。

- 日 時 令和7年12月13日(土)午後2時～3時30分(開場:午後1時30分から)
- 場 所 調布市文化会館たづくり12階 大会議場
- 申 込 事前の申込みは不要です。直接会場にお越しください。当日先着110人
- 発表者 多摩川小学校、杉森小学校、柏野小学校、国領小学校、布田小学校、桐朋小学校、計6校から各2人(小学校5年生)

問合せ／社会教育課 ☎481-7490

夏休み親子料理教室(動画配信)について

学務課では、例年、夏休み期間中に文化会館たづくり調理室で、市内在住の小・中学生と保護者を対象とした親子料理教室を開催しています。

また、市ホームページで、小学校の学校給食調理員が調理方法を実演する動画配信を行っています。

今年度実施した親子料理教室のレシピと調理方法を動画などで紹介していますので、ぜひ、ご自宅等で調理する際の参考にしてください。

(動画は上のQRコードからアクセス可)

問合せ／学務課 ☎481-7476

令和7年度 地域文化祭を開催します

東部・西部・北部の3つの公民館では、毎年、利用団体の学習活動の発表の場、地域の交流の場として地域文化祭を開催しています。今年度も10月25日(土)から11月2日(日)まで(10月27日(月)は休館)の8日間、各公民館で開催します。サークルの作品展示や発表、体験できるものや地域文化祭ならではの催しなどを用意しています。この機会にぜひお立ち寄りいただき、ご観覧ください。

【東部公民館】調布市若葉町1-29-21 ☎03-3309-4505

【西部公民館】調布市上石原3-21-6 ☎484-2531

【北部公民館】調布市柴崎2-5-18 ☎488-2698

※詳細は各公民館へお問い合わせください。

調布の文化財

市指定文化財・下石原八幡神社本殿及び拝殿

下石原八幡神社は、甲州街道沿いの富士見町2丁目1番地11に所在する、下石原宿の鎮守です。棟札から、本殿は、宝永5(1708)年に建立されたことがわかっています。調布市内に残されている社殿建築としては、虎狛神社本殿(天和3(1683)年再建)、布多天神社本殿(宝永3(1706)年再建)に次いで3番目に古く、江戸時代中期の建造物として貴重です。本殿は一間社流造で、屋根は柿葺です。拝殿は嘉永元(1848)年に新築されており、正面向拝は向唐破風、屋根は銅板葺きです。本殿は、宝永4(1707)年に起こった富士山の噴火後に建立されています。自然災害が起こった後でも、村の鎮守である社を再建しようという当時の農村経営の状況を知るうえでも貴重な文化遺産として、令和7年3月28日に市指定有形文化財(建造物)に指定されました。

例年、10月にある祭礼では三頭一組で舞う三匹獅子舞(獅子頭は市指定有形民俗文化財)が行われ、村内を練り歩く「道中獅子舞」と、社前で奉納される「土俵の舞」が行われます。

下石原八幡神社本殿
 問合せ／郷土博物館 ☎481-7656

武者小路実篤は美術コレクター！？解説シートを発行

文学者であり、絵も描き、新しき村を創設するなど幅広い分野で活動した武者小路実篤は、70歳から90歳まで調布・仙川の地(現在の実篤公園)で暮らしました。武者小路実篤記念館では、毎年、夏に小・中学生向けの解説シート「もっと知りたい!武者小路実篤」を制作しています。今年は「実篤の美術コレクション」をテーマとしました。「作品を通じて作者に出会い、心の中で握手する」と言う実篤は、年代や国、作品のジャンルを問わず、自らの心にふれたものから大きな力を得ました。解説シートでは、実篤の美術収集についてイラストと写真で分かりやすく紹介しています。

シートは当館で配布するほか、市内小・中学校の学校図書館に全号を送付しています。また、当館ホームページで閲覧・印刷することができます(下のQRコードからアクセス可)。ぜひ学習にお役立てください。

問合せ／実篤記念館 ☎03-3326-0648

就学援助申請受付中 ～経済的に困りの方へ教育費の一部を援助します～

教育委員会では、お子さんが学校でひとしく勉強できるように、経済的に困りの保護者に対して、教育費の一部を援助しています。
対象は、調布市に居住し、公立小・中学校、義務教育学校又は中等教育学校（前期課程）に在籍する児童・生徒の保護者で、所定の認定要件に該当する方です。申請内容を審査して援助対象者を決定します。まだ申請していない方で希望される場合は、お気軽に学務課にご相談ください。

今からでも
申請できます！



詳細は、市ホームページ
（上のQRコードからアクセス
可）をご参照ください。



受付期間は？

令和8年2月末まで随時受け付けています。
受け付けた月の翌月分から支給対象となりますので、お早めに申請してください。

認定となる世帯収入の目安はどれくらいですか？

世帯構成、年齢、住宅状況、所得の種類などにより異なります。
（参考）目安 4人世帯
世帯収入額：約425万円未満
世帯所得額：約296万円未満

申請方法を教えてください。

【電子申請】市ホームページ掲載の電子申請フォームからお申込みください。
【申請書による申請】申請書に必要書類を添えて、学務課に持参または郵送にて提出してください。

認定の要件にはどのようなものがありますか？

児童扶養手当を受給していること、世帯全員が市民税非課税であることや収入または所得の合計が基準額以下であることなどが認定の要件になります。申請希望の方は、必要書類等を学務課にお問い合わせください。その他の認定要件につきましては、お知らせまたは申請書をご確認ください。

就学援助のお知らせはどこで受け取れますか？

4月上旬に各学校から全児童・生徒の保護者に配付しました。
お手元がない場合は、学務課または学校で受け取るか、市ホームページからダウンロードすることも可能です。

どのような援助が受けられますか？

●学用品費 ●通学用品費 ●校外活動費 ●新入学準備金
●新入学生用品費 ●卒業記念品費 ●体育実技用具費
●通学費 ●移動教室費 ●修学旅行費 ●医療費 ●給食費
※学年や認定月により受けられる援助の内容や支給金額が異なります。
【支給金額の例（年額）】 ●小学校6年生 約11万円
●中学校3年生 約13万円

令和8年4月に小学校入学予定のお子さんの保護者の方へ 就学援助新入学準備金申請 受付開始！

就学援助の認定基準に該当する方に、入学前の2月に新入学準備金を支給します。また、認定者のうち希望者へ、学用品費を入学前に支給します。お知らせは、9月に対象者へ送付した就学時健康診断通知書に同封しています。ご希望の方は、学務課に申請してください。

- 支給金額** 新入学準備金 60,060円
- 提出期限** 令和7年12月26日（金）
- 申請方法** 【電子申請】市ホームページ掲載の電子申請フォームからお申込みください。
【申請書による申請】申請書に必要書類を添えて、学務課に持参または郵送にて提出してください。

中学校新入学準備金は、小学校6年生の児童の保護者で1月に就学援助に認定されている方に支給します。
●支給金額：66,500円 ●支給時期：1月末頃

問合せ／学務課 ☎481-7473

教育相談所からのご案内

令和8年4月小学校入学予定のお子さんがある保護者の方へ

特別な支援を必要とするお子さんが発達の状況に応じて、その能力を十分に伸ばせるよう、適切な就学先を保護者の方と考える「就学相談」を実施しています。

調布市立小学校に設置されている特別支援学級・校内通級教室への入級や、都立特別支援学校への入学には、「就学相談」のお申込みが必要です。お子さんの成長のために必要な支援について、相談員との面接や就学体験会等を経て検討します。

1 調布市立小学校の 特別支援学級・校内通級教室に入級を希望される方

申込期限 令和7年11月14日（金）

2 都立特別支援学校に入学を希望される方

申込期間 早急にお申し込みください

申込 専用フォーム（右のQRコードからアクセス可）
または電話481-7634（教育相談所）



問合せ／指導室 ☎481-7634

不登校児童・生徒への支援

教育委員会では、不登校児童・生徒への支援を行っています。

詳細は、
市ホームページ（右のQR
コードからアクセス可）
をご参照ください。▶



不登校児童生徒支援プロジェクトSWITCH（スイッチ）－東京学芸大学との連携事業－

メンタルフレンド

学校を長くお休みしている小学生・中学生の家庭にメンタルフレンドを派遣しています。ゲーム、おしゃべりなどの活動を行っています。ご希望の方は、お子さんの在籍する調布市立小・中学校にご相談ください。

テラコヤ・スイッチ

テラコヤ・スイッチは、学校を長くお休みしている、又は休みがちになっている小学校4年生から中学生のための場所です。毎週木曜日午後4時から午後6時まで、遊びや学びの活動をしています。大学生・大学院生のスタッフが、活動の支援をしています。

問合せ／指導室 ☎481-7585

学校に行きづらい子どもの保護者の集い

学校に行きづらいお子さんの保護者の方を対象にした集いを開催します。
開催内容の変更または開催を中止する場合があります。参加を希望される方は、申込みが必要です。

日時 令和7年11月25日（火）午前10時から正午まで
令和8年 3月13日（金）午前10時から正午まで

場所 調布市教育会館301研修室

講師 東京学芸大学教育学部 教授
松尾 直博 先生

訪問型支援「みらい」

教育支援コーディネーターや心理士が、学校を長くお休みしている小学生・中学生の自宅や公共施設などを訪問し、悩み事の相談やお子さんに応じた学習の支援を行います。
ご希望の方は、お子さんの在籍する調布市立小・中学校にご相談ください。

適応指導教室「太陽の子」

不登校又はその傾向がみられる小学校4年生から6年生が社会的自立に向けて学ぶ教室です。

調布市立第七中学校
「はしうち教室」（学びの多様化学校分教室）

不登校の中学生が社会的自立に向けて学ぶ学校です。文部科学省の認可を受け、ゆとりある時間割で学習します。

問合せ／指導室 ☎481-7718

● 市立中学校部活動地域連携・地域移行に向けて ●

地域連携・地域移行の目的

中学校の部活動は、全国的に少子化が進展し、チームを編成することができない活動があることや、休日の指導・大会引率などの活動を担う教員に負担があることから、これまでと同様の体制で活動を継続することが困難な状況にあります。このような状況を踏まえて、生徒たちのスポーツ・文化芸術活動の確保及び教員の負担軽減の観点から、部活動の地域連携・地域移行に向けた取組を進めています。

●**地域連携とは**… 学校が主体となって行う部活動において、部活動指導員等の地域人材を活用しながら生徒の活動機会を確保するものです。

●**地域移行とは**… 地域が主体となって行う地域クラブ活動によって、部活動を代替するものです。

部活動地域連携・地域移行に関する推進計画

市では、市の実態に合った部活動の地域連携・地域移行を実現するため、令和6年12月に「調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に関する推進計画」を策定しました。令和9年度以降、可能な限り早期に全ての休日部活動において地域連携又は地域移行を実施し、生徒が地域人材等による技術指導を受けられていることを目標としています。

<目指す将来像>

「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」という意識のもと、調布の地域資源を活用した持続可能な地域クラブを整備することで、部活動を学校教育活動から地域に移行し、生徒が生涯にわたって地域の中で主体的に様々なスポーツ・文化芸術活動を楽しむことができるまちづくりが進められています。

教育シンポジウムでの様子

8月27日に「部活動の地域連携・地域移行」をテーマに教育シンポジウムを開催しました。

当日は、これまでの市の取組を紹介するほか、「今求められる部活動の地域連携・地域移行について」をテーマに玉川大学教育学部教育学科准教授の阿部隆行氏による基調講演を実施しました。また、パネルディスカッションも実施し、地域移行のスキームである「調布モデル」や今後のトライアル事業の検討状況や方向性を紹介しました。

会場には地域の方や保護者、学校の教員などの多くの参加者が集まり、部活動の在り方を改めて考える機会となりました。

※部活動の地域連携・地域移行に向けたトライアル事業の実施は12月頃に予定しています。詳細は決まり次第、市ホームページ（右のQRコードからアクセス可）に掲載します。



問合せ／指導室 ☎481-7480